



住民ディレクター養成講座in鬼無里

カメラを持って鬼無里に行って、
出会ったものは、人・歴史・暮らし・・・



8月24日（土）10:00～16:00 鬼無里活性化センター

前日の激しい雨で、心配していたお天気も、当日は晴れて蒸し暑い1日となりました。

一昨年の中条での講座から2年弱、久しぶりに住民ディレクター活動の生みの親、岸本晃さんの講座が開催されました。

午前中は岸本さんの講義。住民ディレクターとは、暮らしを豊かにする人、住民ディレクターを始めると老若男女みんなが元気に！など、岸本さんが活動を始めた理由や、18年の活動で見えてきたものについてお話をしてもらいました。「テレビは見るものではなくて使うもの」。現在岸本さんが根を下ろしている福岡県東峰村での住民のみなさんのイキイキとした様子、水害に遭った兵庫県作用町からは災害時に住民ディレクターが果たす役割、東日本大震災後、岩手県住田町が沿岸部の情報発信のキーステーションになっている様子など事例も山盛りです。

講義が終って、4人一組でいよいよ取材にでかけます。カメラマン、レポーター、ディレクター（仕切り役ですね）、メイキングカメラ、それぞれ役割を決めます。おっと、その前に。

今日は、鬼無里のいいところをさがしに行くというのがテーマです。鬼無里の良さをたくさんの人に知ってもらうための番組作り。1本3分程度の番組をどこに、だれに取材して、どんな番組にしたいの？ 作戦会議をして、鬼無里へ飛び出していきます。やる気満々のグループは、お昼ご飯もそこそこに出かけていきました。

取材を終えて帰ってきたみなさんから、1グループ1本番組を上映します。郷土歴史館やお寺や史跡をめぐるグループ、地域のお店を取材したグループ、鬼無里の人ですら知らない公園をレポートしてくれたグループ。そこで、新たな出会いや発見がたくさんあったようです。改めて、地域を見つめるには、カメラを持ってでかけるのが1番！と思える番組がそろいました。

終了後、この番組、どこかで見れるようになるの？ みんなで観たいね。という声も聞かれ、楽しかった様子が伺われました。



←岸本さんの熱のこもった
お話
5・4・3・2・1 →
スタート！ カメラが回ります。



←仲間が映るだけで楽しい